

LIXIL 50角門柱 H10,H12

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 設置高さの上限は、門柱外側のG.L.から1m以内にしてください。使用用途、設置環境に応じて事故の危険がない設置高さとしてください。
- 門扉は人や車が出入りするのためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。
- 本製品は、戸建住宅の玄関アプローチなどの屋外通路への設置を目的にしています。
- おおぜいの人が集まるおそれのある場所には設置しないでください。
- 玄関ポーチに施工する場合は、コンクリート施工された場所に施工してください。ブロック上への施工はできません。



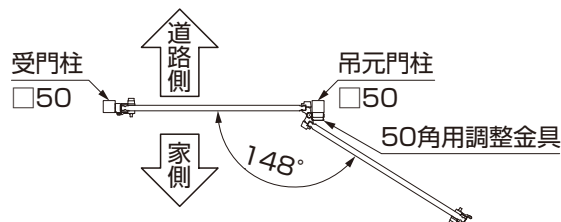
注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
- 上面ベース仕様門柱、側面ベース仕様門柱の施工では、市販のグリップアンカー専用ハンドホルダーM8用を別途準備してください。
- 上面ベース仕様門柱の施工では、床面深さが150mm以上、側面ベース仕様門柱の施工では、取付壁面のコンクリートの厚さが150mm以上あることを前もって確認してください。150mm未満ではアンカーに必要な強度が保てません。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 50角用調整金具にアーキキャスト門扉のヒンジを使用する場合は内開き時、門扉の開口角度を148°以上にすると、ヒンジが調整金具に当たって樹脂カバーが破損するおそれがあります。その場合は、安全のため門扉仮固定機能付ストッパーAを別途準備してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジ類は弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 寒冷地では、門柱に水抜き穴をあけてください。



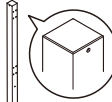
<基礎工事について>

⚠ 注意

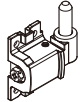
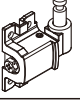
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水が溜まらないようにしてください。
- 玄関ポーチに施工する場合は、必ず水抜き穴をあけてください。

■梱包明細表

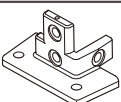
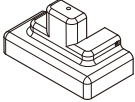
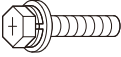
【1】門柱セット

名 称	略 図	員 数							
		埋込施工用			上面ベース施工用			側面ベース施工用	
		片開き	両開き	吊元門柱 1本入り	片開き	両開き	吊元門柱 1本入り	片開き	両開き
吊元門柱		1	2	1	1	2	1	1	2
受け門柱		1	—	—	1	—	—	1	—
片錠受裏板		1	—	—	1	—	—	1	—
ベースプレート補強材		—	—	—	1	—	—	1	—
ベースプレート裏板		—	—	—	2	2	1	2	2
取付説明書〈A538〉	—	1	1	1	1	1	1	1	1

【2】調整金具50角門柱用

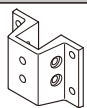
名 称	略 図	員 数	
		片開き	両開き
50角用調整金具(上)		1	2
50角用調整金具(下)		1	2
樹脂カバー		2	4
ワッシャー		2	4
【2-1】M5×14トラスネジ		8	16

【3】上面ベースプレート

名 称	略 図	員 数
上面ベースプレート		2
上面ベースプレートカバー		2
レベル調整板		4
【3-1】M8グリップアンカー		4
【3-2】M8×30十字穴付き六角ボルトWセムス		10
【3-3】φ4×10サラタツピンネジ3種 D=6		4

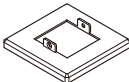
■梱包明細表（つづき）

【4】側面ベースプレート

名 称	略 図	員 数
側面ベースプレート		1
【4-1】M8グリップアンカー		4
【4-2】M8×30十字穴付き六角ボルトWセムス		10

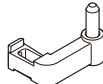
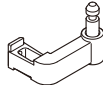
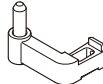
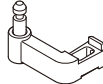
【5】柱カバー

オプション

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2
【5-1】φ4×10サラタッピンネジ3種 D=6		4

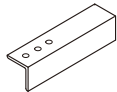
【6】外開き用持送り・50角門柱用

オプション

名 称	略 図	員 数		
		片開き		両開き
		右	左	
外開き用持送り上(右)		1	—	1
外開き用持送り下(右)		1	—	1
外開き用持送り上(左)		—	1	1
外開き用持送り下(左)		—	1	1

【7】柱延長金具セット

オプション

名 称	略 図	員 数
柱延長金具		2
【7-1】M5×15ナベネジ		6

【8】補助アンカーセット

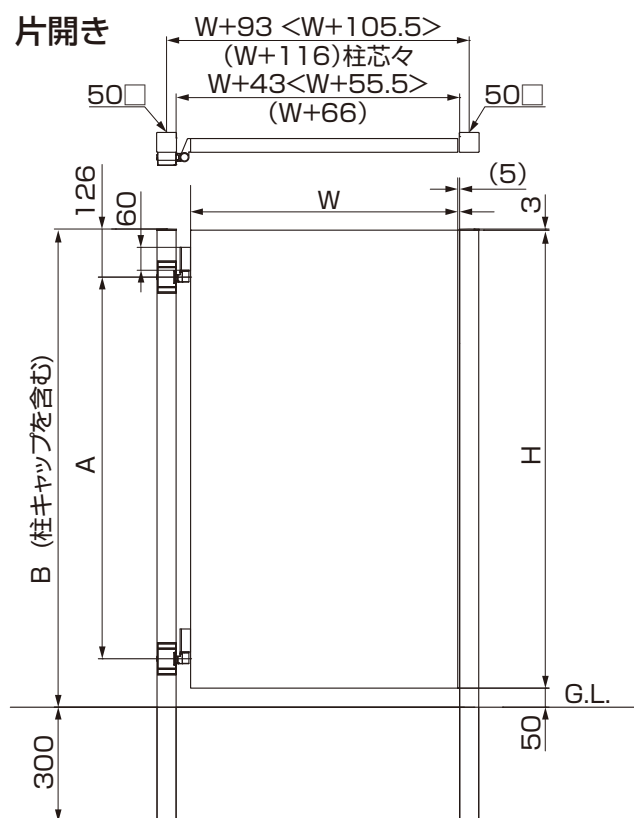
オプション

名 称	略 図	員 数
補助アンカー		2

1. 基本寸法と各部名称

1-1 埋込仕様

(1) 片開き



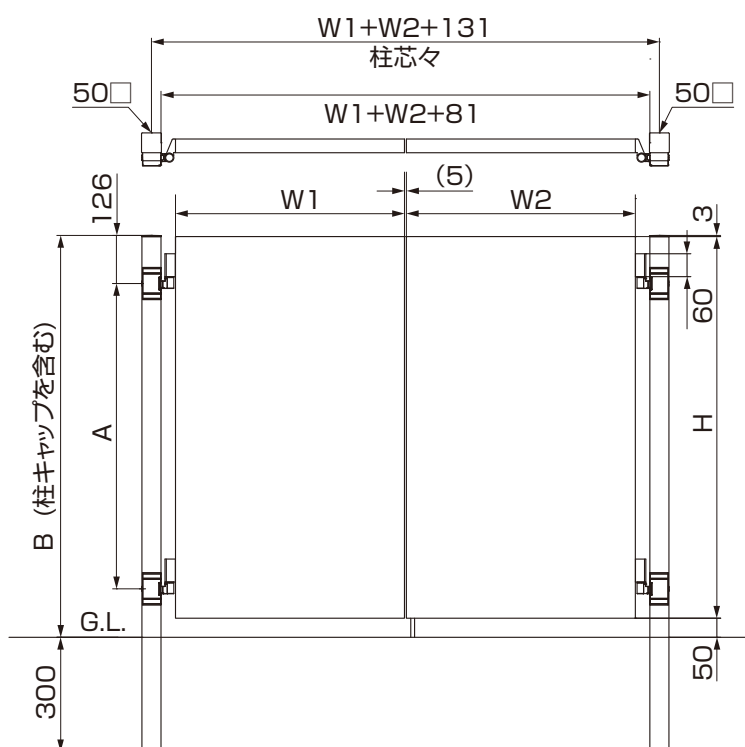
呼称	A	B
H 10	800	1053
H 12	1000	1253

呼称	W
03	300
04	400
05	500
06	600
07	700
08	800

ポイント

- < > 寸法は形材門扉に片開き面付けラッチ錠用スペーサー取付けの場合。
- () 寸法は鋳物門扉に片開きラッチ受部材取付けの場合。

(2) 両開き



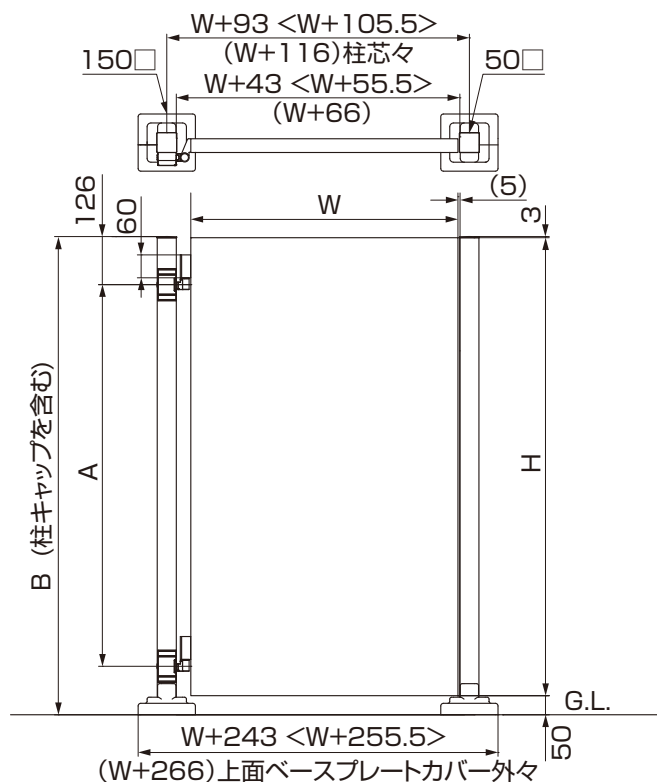
呼称	A	B
H 10	800	1053

呼称	W1	W2
03	300	300
04	400	400
05	500	500
06	600	600
07	700	700
08	800	800

1. (つづき)

1-2 上面ベースプレート仕様

(1) 片開き



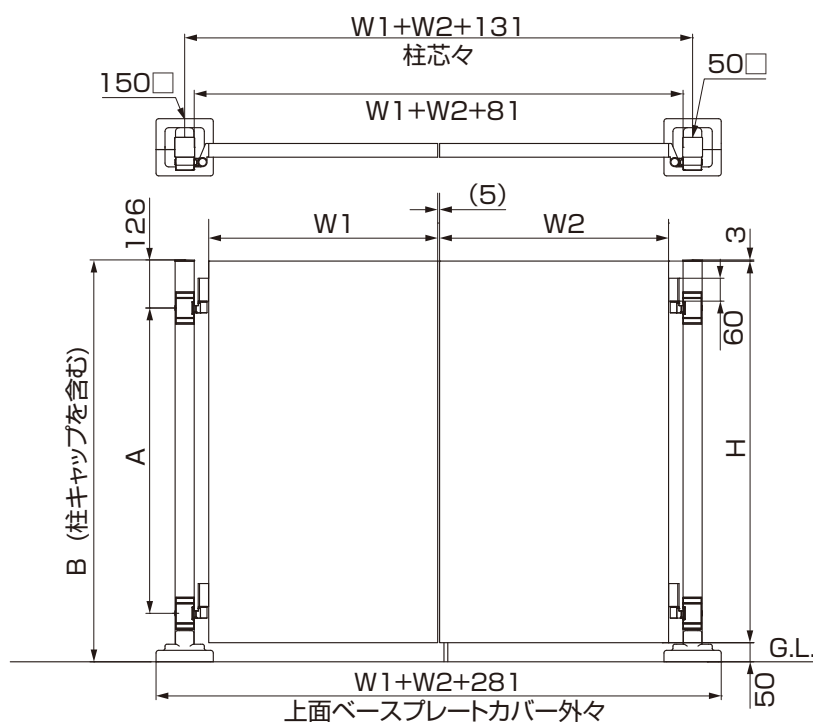
呼称	A	B
H 10	800	1053
H 12	1000	1253

呼称	W
03	300
04	400
05	500
06	600
07	700
08	800

ポイント

- < > 寸法は形材門扉に片開き面付けラッチ錠用スペーサー取付けの場合。
- () 寸法は鋳物門扉に片開きラッチ受部材取付けの場合。

(2) 両開き



呼称	A	B
H 10	800	1053

呼称	W1	W2
03	300	300
04	400	400
05	500	500
06	600	600
07	700	700
08	800	800

※側面ベースプレート仕様には2つの取付方法があり、取付け方法により両開きができない場合があります。（表1-1参照）

Technical drawing of a porch base plate (側面ベースプレート) showing dimensions and components. The drawing includes the following labels and dimensions:

- Dimensions:**
 - W+116 (Total width including side plates)
 - W+66 (Width of the main base plate)
 - W (Width of the main base plate)
 - W+266 (Total width including side plates and base plate)
 - 126 (Height of the side plate)
 - 60 (Height of the side plate)
 - A (Height of the side plate)
 - 100 (Height of the side plate)
 - 50 (Height of the side plate)
 - 50 (Height of the side plate)
 - 3 (Height of the side plate)
 - H (Height of the main base plate)
 - G.L. (Ground Level)
- Components:**
 - 柱芯々 (Pillar core)
 - 柱内々 (Pillar inner)
 - 側面ベースプレート外々 (Side base plate outer)
 - ポーチ基礎部 (Porch foundation part)
- Notes:**
 - B (柱キャップを含む) (Including pillar cap)
 - (5) (Note 5)

	片開き	両開き
A取付け	○	×
B取付け	○	○

呼称	W
03	300
04	400
05	500
06	600
07	700
08	800

●図の寸法は鋳物門扉に片開きラッチ受け部材を取付ける場合です。

Technical drawing of a porch structure showing top and side views with dimensions.

Top View Dimensions:

- Overall width: $W1 + W2 + 131$
- Width of the central section: $W1 + W2 + 81$
- Width of the side sections: 50 (on each side)
- Labels: 柱芯々 (Pillar cores), 柱内々 (Pillar interiors)

Side View Dimensions:

- Overall height: B (柱キャップを含む) (Including pillar cap)
- Height of the upper section: 126
- Height of the lower section: 60
- Height of the base: 50
- Height of the side section: 3
- Height of the central section: H
- Width of the central section: $W1$
- Width of the side section: $W2$
- Width of the side section: (5)
- Ground level: G.L.
- Label: ポーチ基礎部 (Porch foundation part)

呼称	A	B
H 10	800	1053

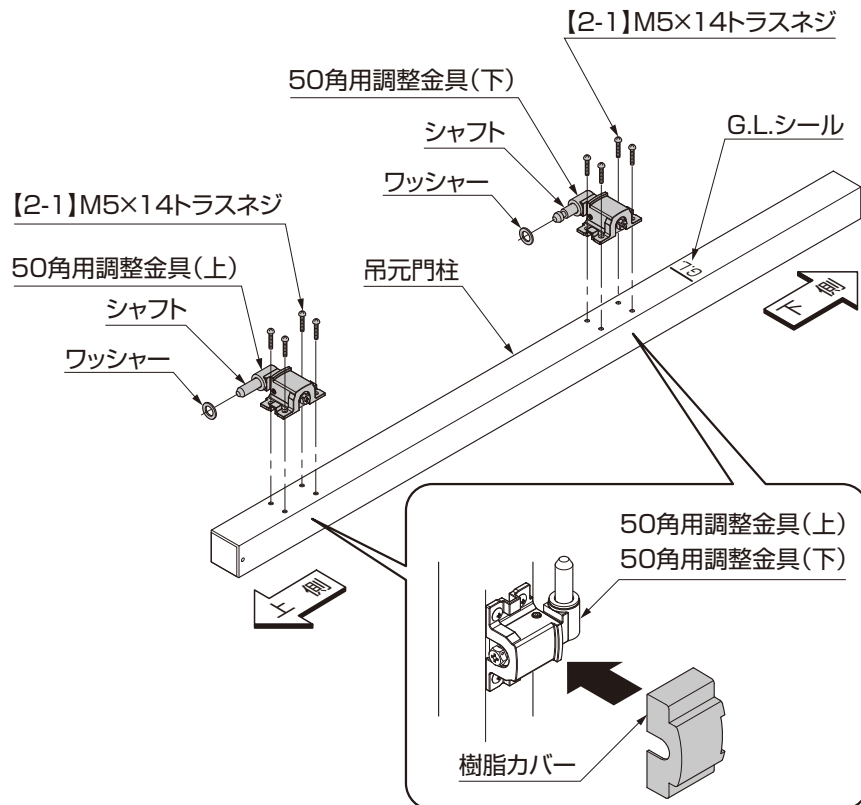
呼称	W1	W2
03	300	300
04	400	400
05	500	500
06	600	600
07	700	700
08	800	800

●片開き時は、A取付けと同様に柱内々寸法がW+66となるように施工してください。

2. 埋込み前の準備

2-1 吊元柱への50角用調整金具の取付け

※柱カバー、上面ベースプレート取付けの場合は、柱設置後に行う作業です。



①吊元門柱に50角用調整金具(上)と50角用調整金具(下)を【2-1】で固定してください。

ポイント

- 片開きの左勝手の場合には「2-3 片開き、左勝手の組替え」にしたがって50角用調整金具のシャフトを組替えてから行なってください。
- 上面ベースプレート仕様の際は、調整金具(下)は上面ベースプレートカバー取付け後に固定してください。

②門扉調整後に、樹脂カバーを取付けてください。

2-2 柱カバーの取付け準備 オプション

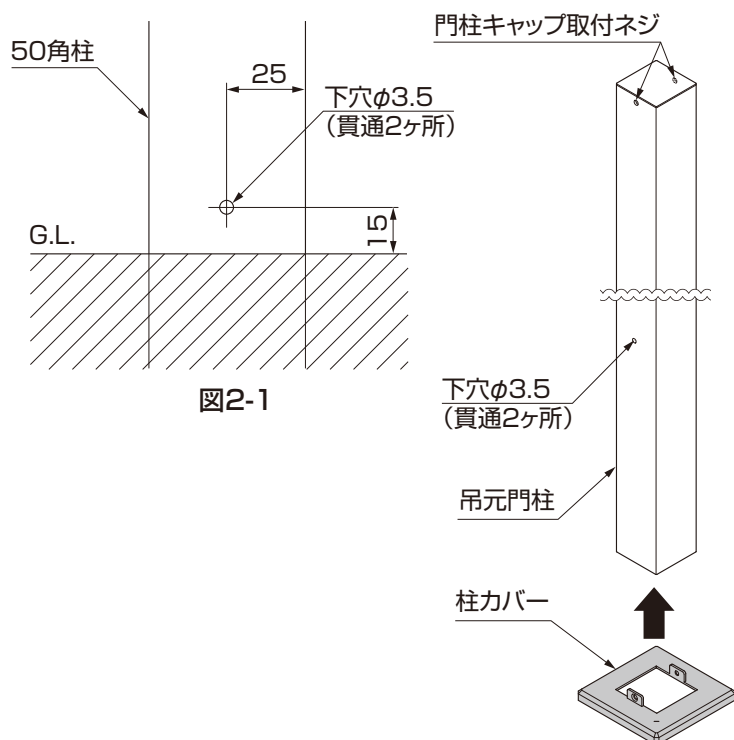


図2-1

補足

- 柱カバーを取付ける場合は、埋込前にG.L.面より15mmの位置にΦ3.5の下穴をあけてください。(図2-1参照)
- 下穴を開ける面は、門柱キャップ取付ネジのある面にしてください。

①柱カバーを50角柱に通してください。

2-3 片開き、左勝手の組替え

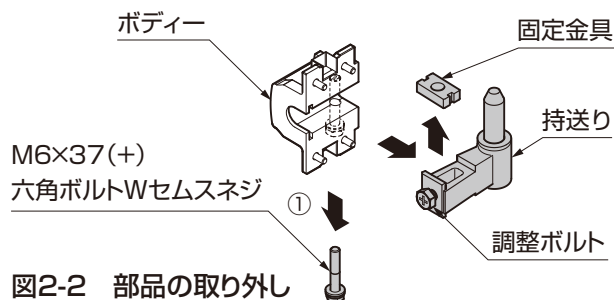


図2-2 部品の取り外し

①「M6×37(+)'六角ボルトWセムスネジ」を外してください。

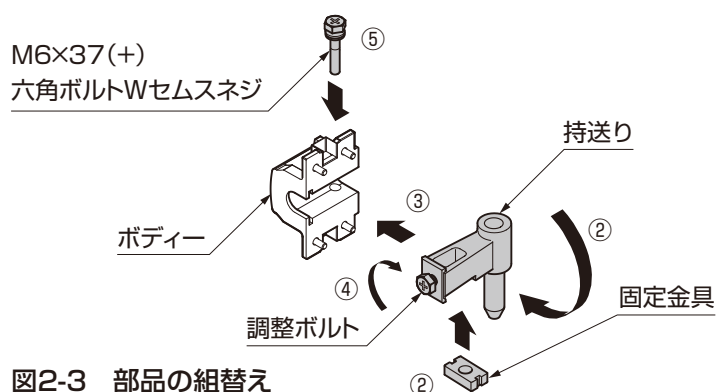


図2-3 部品の組替え

②持送りと固定金具を下向きに付け替えてください。

③持送りと固定金具をボディーに挿入してください。

④調整ボルトを締めてください。

⑤「M6×37(+)'六角ボルトWセムスネジ」を締め、持送りを固定してください。

2-4 外開き用持送りの組立て ※外開き仕様時の作業です。

(1) 持送りの組替え

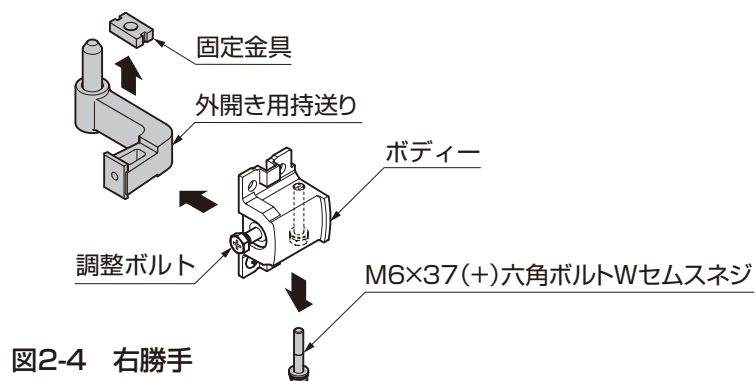


図2-4 右勝手

①「M6×37(+)'六角ボルトWセムスネジ」を外し、調整ボルトをゆるめて持送りを組替えてください。

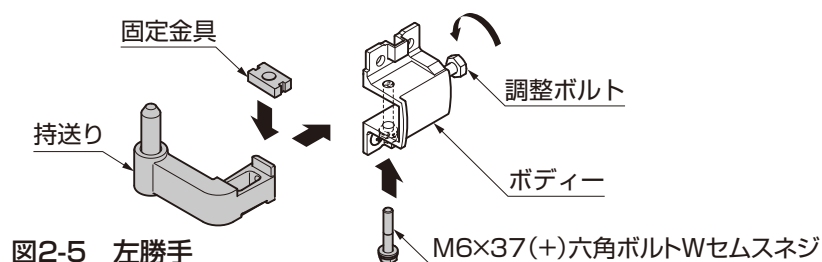


図2-5 左勝手

2. (つづき)

2-5 補助アンカーを取付ける場合 オプション

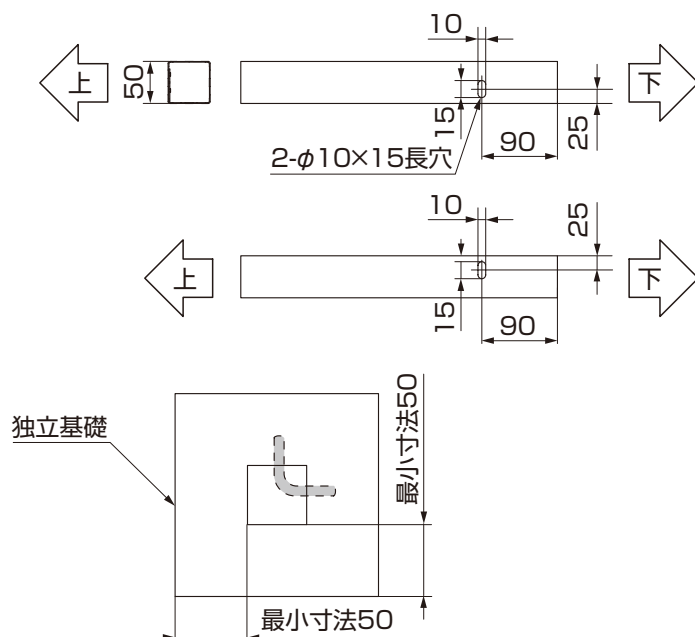


図2-4

補足

- 柱から独立基礎端部までの距離が最小寸法50mmになる場合に実施してください。(図2-4参照)

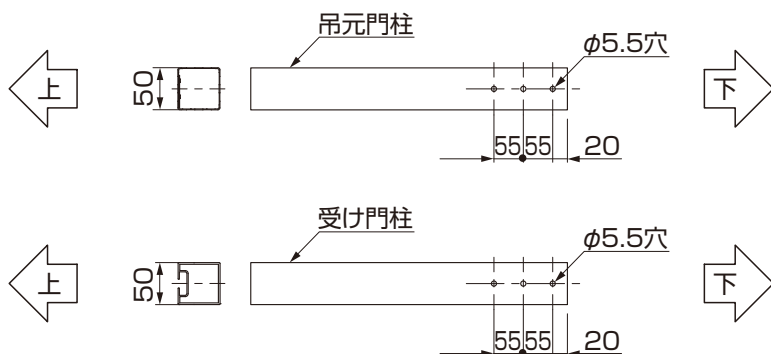
- ① 補助アンカーを取付ける面にφ10×15長穴を現場加工してください。

ポイント

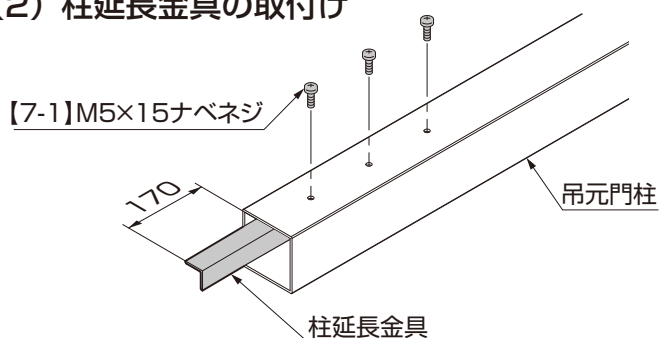
- 隣り合う2面に加工してください。(図2-4参照)

2-6 柱延長金具を取付ける場合 オプション

(1) 門柱の加工



(2) 柱延長金具の取付け



補足

- インターロッキングなどの床材厚さの影響で柱埋込み深さが300mm以下になる場合に実施してください。

- ① 柱延長金具を取付ける面に図のようにφ5.5の穴を現場加工であけてください。

ポイント

- 吊元門柱には調整金具をつける反対面に穴あけ加工をしてください。
- 受け門柱には、柱上部に柱キャップ取付穴の無い面に穴あけ加工をしてください。

- ① 門柱に柱延長金具を【7-1】で固定してください。

3. 埋込門柱の取付け

3-1 門柱の埋込み ※図中のH・Wは「1. 基本寸法と各部名称」を参照してください。

(1) 片開き

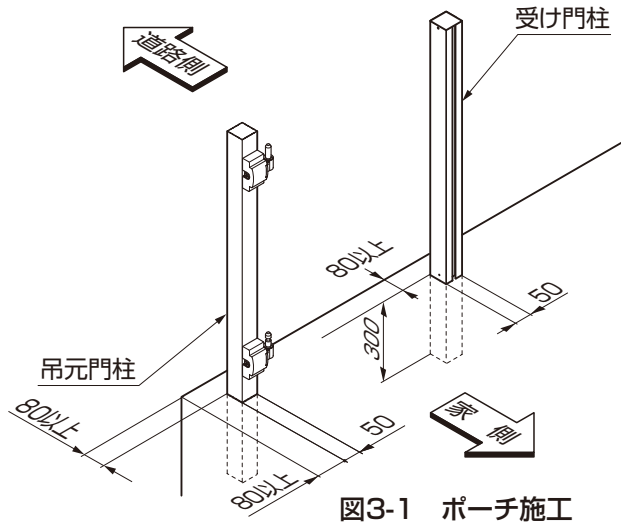


図3-1 ポーチ施工

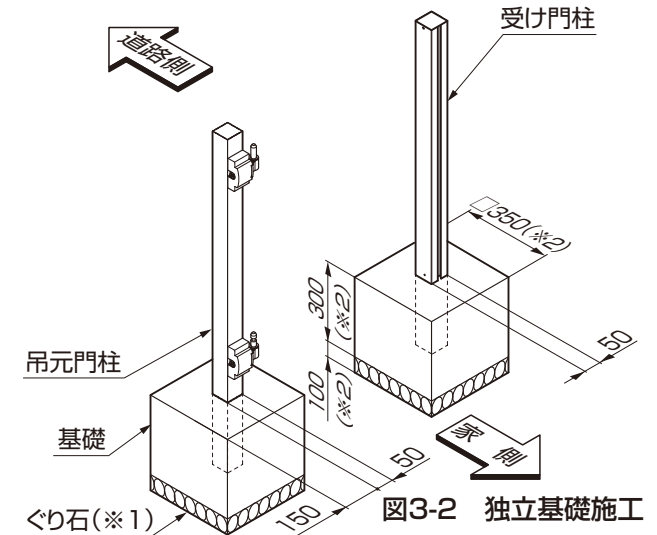


図3-2 独立基礎施工

(2) 両開き

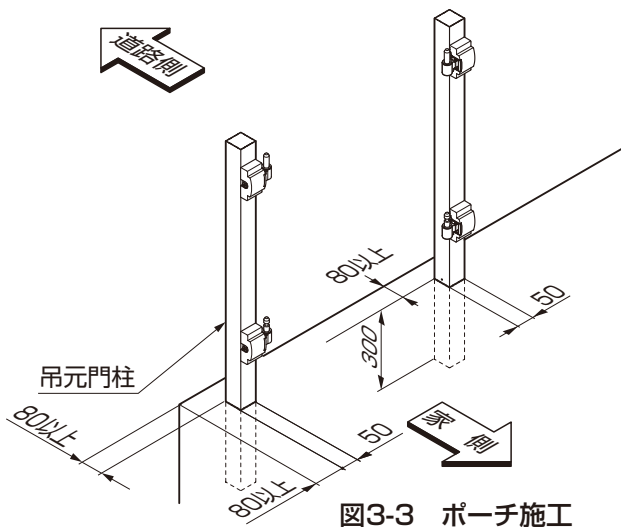


図3-3 ポーチ施工

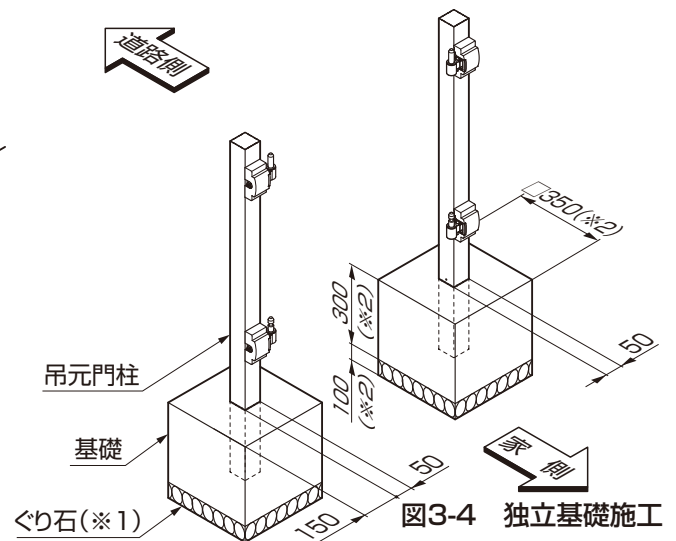


図3-4 独立基礎施工

①門柱を施工図に従いコンクリートで固定してください。

ポイント

- 門柱は、垂直を出してから固定してください。
- 水が抜けにくい構造になった場合は、G.L.面より5mm程度上部にφ5の水抜き穴をあけてください。ポーチ施工の場合は、必ずG.L.面より5mm程度上部にφ5の水抜き穴をあけてください。

補足

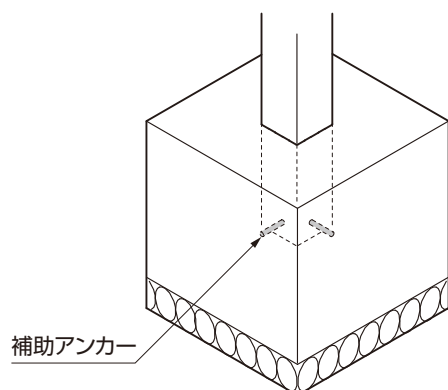
- 門柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工などで水が抜ける構造にしてください。(※1)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※2)
- 落し棒受けの取付け位置は門扉本体の取付説明書を参照してください。

注意

- ポーチに設置する際は、門柱がポーチの端部から80mm以上あることを確認してください。
柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。

3. (つづき)

3-2 補助アンカーの場合 オプション

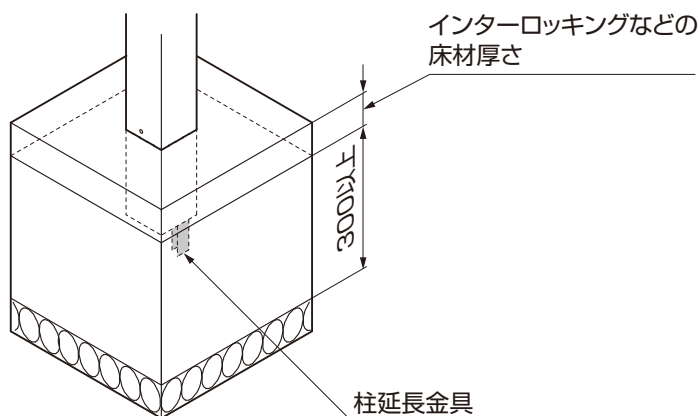


①門柱に補助アンカーを通し、固定してください。

⚠ 注意

●門柱と独立基礎端部との寸法は必ず図3-2、3-4の寸法以上確保してください。柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。

3-3 柱延長金具の場合 オプション

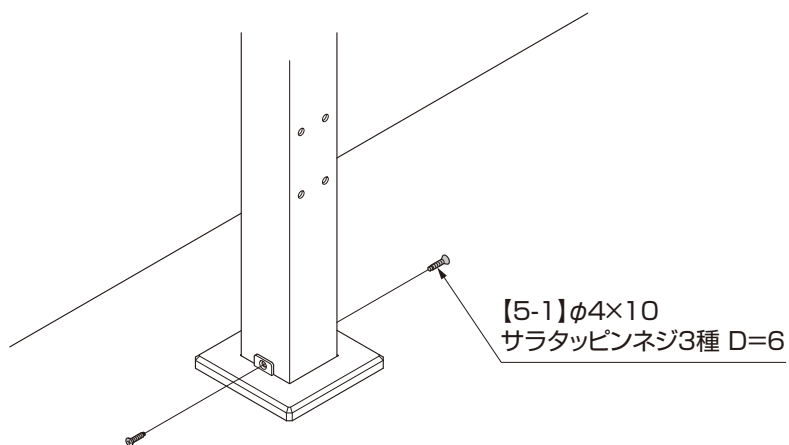


①基礎穴を掘り、門柱を建込んで固定してください。

⚠ 注意

●基礎の深さは必ずインターロッキングなどの床材厚さの下端から300mm以上確保してください。柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。

4. 柱カバーの取付け オプション



🔑 ポイント

●柱カバーの固定は、コンクリートが固まったあとに行ってください。

①柱カバーを50角柱に、【5-1】で取付けてください。

5. 上面ベースプレート門柱の取付け

5-1 アンカーの打ち込み

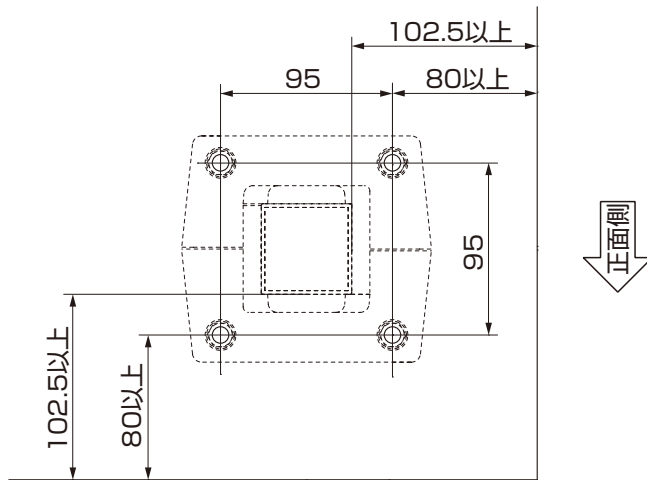


図5-1

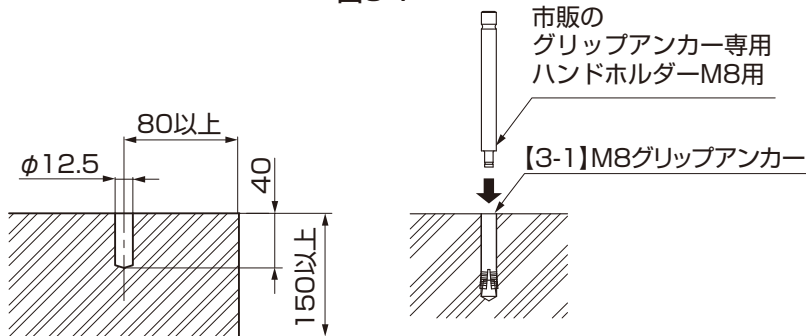


図5-2

図5-3

⚠ 注意

- 上面ベースプレートに対応する面は、水平かつ平らな状態の場所に限りま
す。それ以外の場合、強度不足やガタ
ツキが生じて危険です。

- ① 図5-1、図5-2を参照して、基礎部に必要
な深さの穴をあけてください。

⚠ 注意

- 下記の寸法が得られない場合には、強
度不足やガタツキが生じ柱が倒れ、事
故につながるおそれがあります。
- 床面深さが150mm以上あること、
アンカーの穴がポーチの端部から
80mm以上あることを確認してくだ
さい。(図5-1、図5-2参照)

- ② 穴内の切粉を取り除いてください。

✎ 補足

- 吸塵器またはダストポンプを使用す
ると切粉を容易に取り除くことがで
きます。

- ③ 【3-1】を軽く叩いて挿入し、市販のグリ
ップアンカー専用ハンドホルダーを
使用して、手ごたえが変わるまでハン
マーで打ち込んでください。(図5-3参
照)

5-2 柱の設置

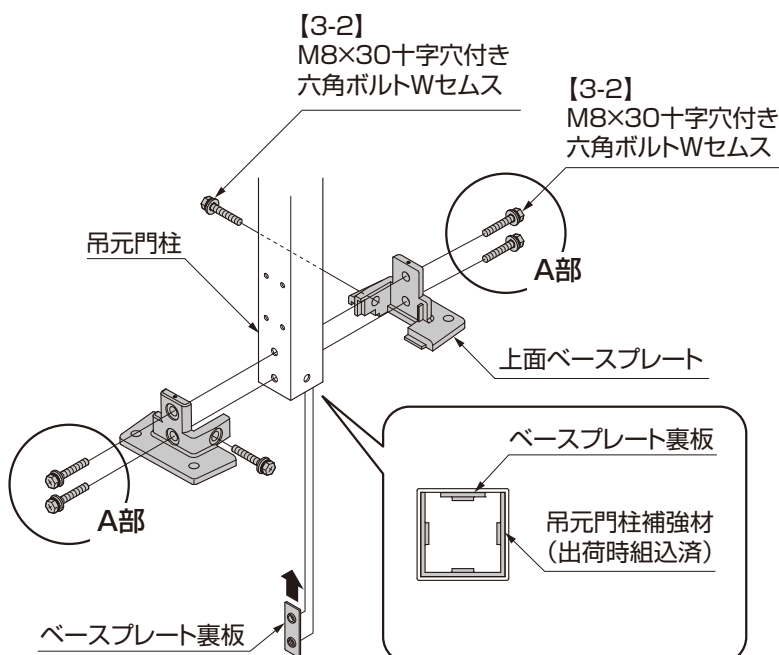


図5-4 吊元門柱の場合

- ① 吊元門柱内部にベースプレート裏板を差
し込み、吊元門柱と上面ベースプレートを
【3-2】にて固定してください。(図5-4参
照)

🔑 ポイント

- A部の【3-2】から先に固定してくだ
さい。

5. (つづき)

5-2 (つづき)

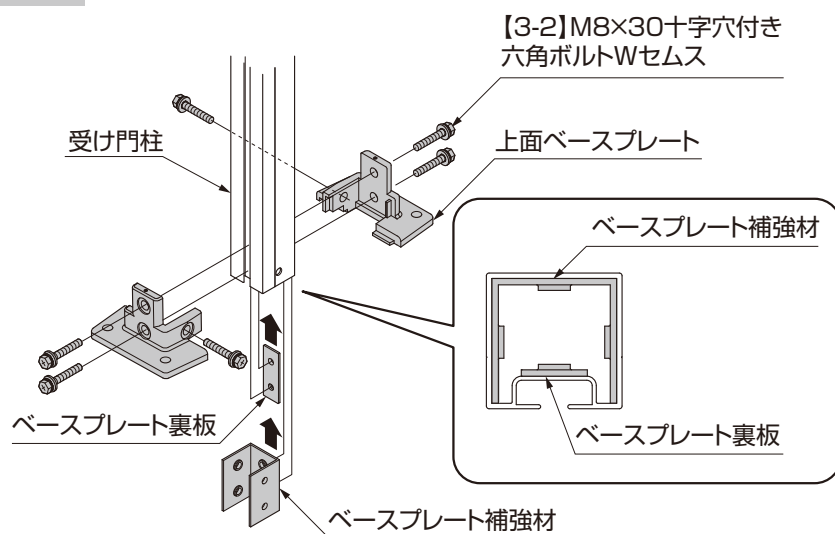


図5-5 受け門柱の場合

- ② 受け門柱内部にベースプレート裏板とベースプレート補強材を差し込み、受け門柱と上面ベースプレートを【3-2】で固定してください。(図5-5参照)

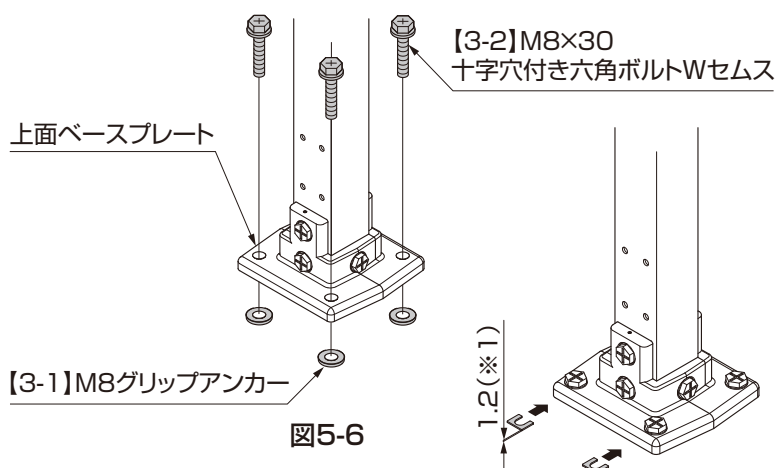


図5-6

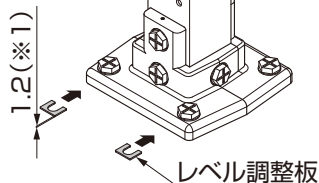
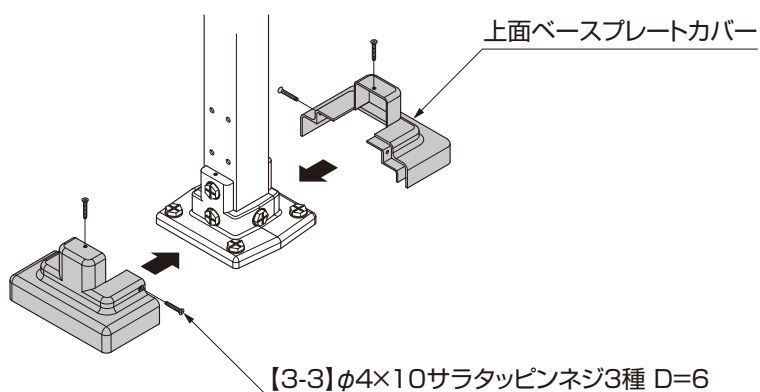


図5-7

- ③ 【3-2】で上面ベースプレートを【3-1】に取付けてください。(図5-6参照)
④ 1.2mmのレベル調整板(※1)を上面ベースプレートと【3-1】の間に挿入して、水平・垂直を出してください。(図5-7参照)

5-3 上面ベースプレートカバーの取付け



- ① 上面ベースプレートに、上面ベースプレートカバーを挟むようにかぶせてください。
② 上面ベースプレートの上面、側面部穴に、【3-3】で上面ベースプレートカバーを固定してください。

補足

- 上面ベースプレートカバー取付後に調整金具(下)を固定してください。

6. 側面ベースプレート門柱の取付け

6-1 アンカーの打ち込み

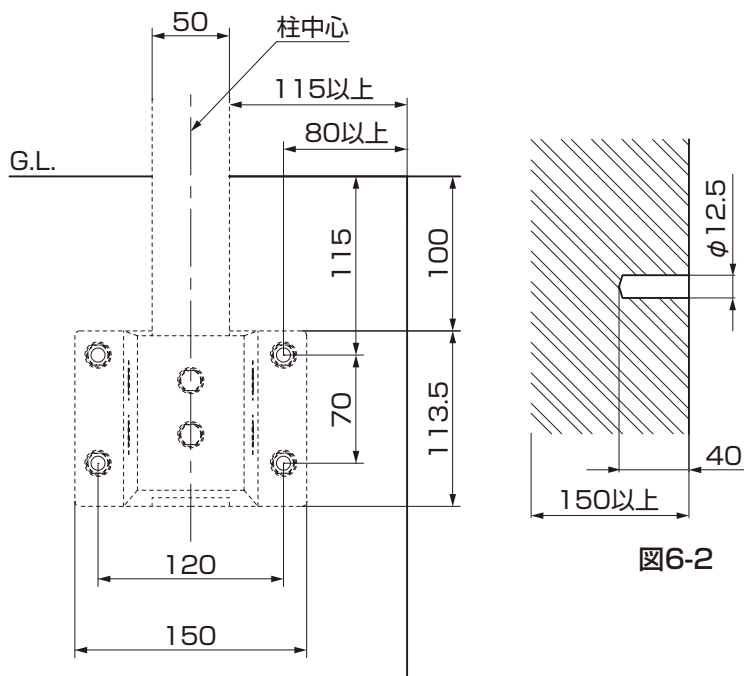


図6-1

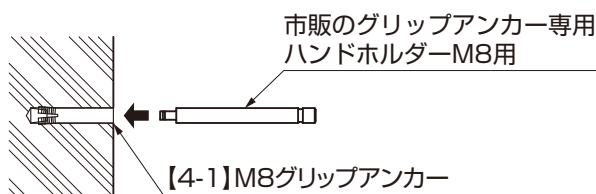


図6-3

6-2 吊元門柱の組み立て

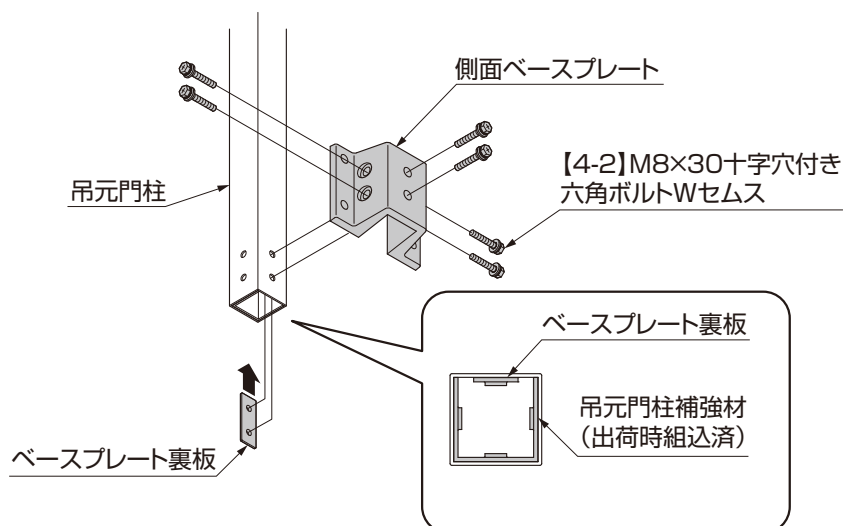


図6-4 吊元門柱の場合

⚠ 注意

- 側面ベースプレートに対応する壁面は、垂直かつ平らな状態の場所に限りま
す。それ以外の場合、強度不足やガタ
ツキが生じて危険です。

- ①図6-1、図6-2を参照して、コンクリート壁
面部に必要な深さの穴をあけてください。

⚠ 注意

- 下記の寸法が得られない場合には、強
度不足やガタツキが生じ柱が倒れ、事
故につながるおそれがあります。
- コンクリート壁面厚さが150mm以
上あること、アンカーの穴がポーチの
端部から80mm以上あることを確認
してください。(図6-1、図6-2参照)

- ②穴内の切粉を取り除いてください。

✎ 補足

- 吸塵器またはダストポンプを使用す
ると切粉を容易に取り除くことがで
きます。

- ③【4-1】を軽く叩いて挿入し、市販のグリ
ップアンカー専用ハンドホルダーを使用し
て、手ごたえが変わるまでハンマーで打ち
込んでください。(図6-3参照)

✎ 補足

- ベースプレートを取付ける面により、
ベースプレート裏板が不要になる場
合があります。

- ①取付ける面を確認して吊元門柱内部に
ベースプレート裏板を差し込み、吊元門
柱と側面ベースプレートを【4-2】にて固
定してください。(図6-4参照)

6. (つづき)

6-3 受け門柱の組み立て

ポイント

●A取付の際、ベースプレート裏板は不要です。

②受け門柱内部にベースプレート裏板とベースプレート補強材を差し込み、側面ベースプレートを【4-2】で固定してください。(図6-5、図6-6参照)

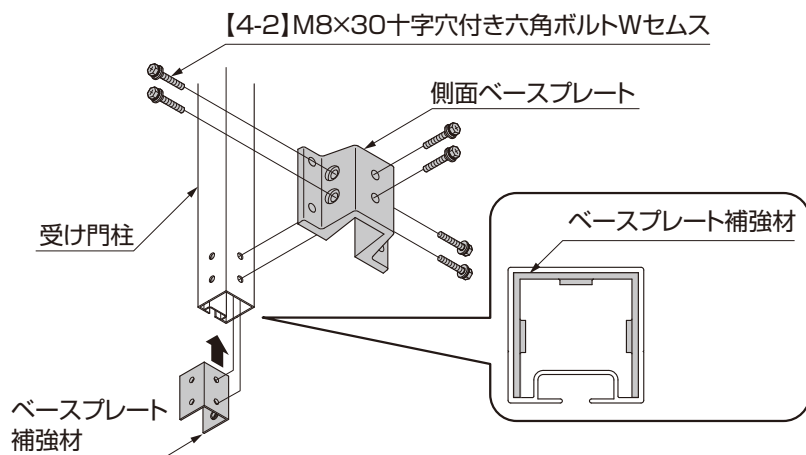


図6-5 A取付けの場合

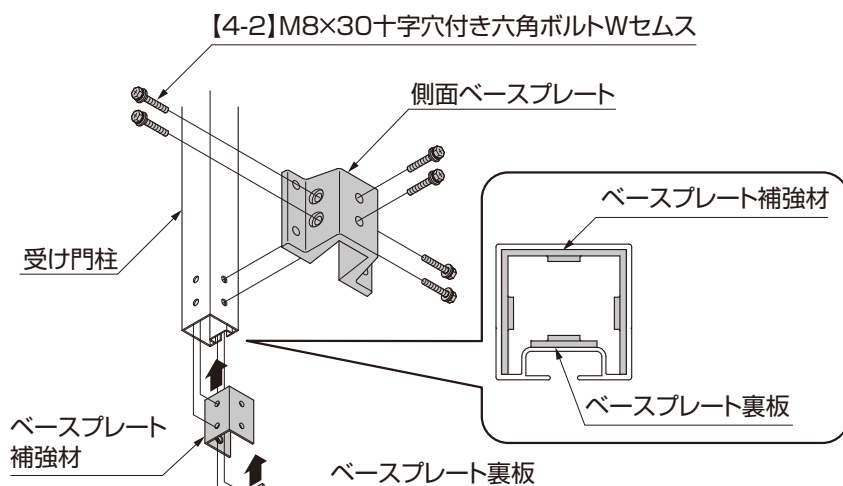


図6-6 B取付けの場合

6-4 側面ベースプレート仕様の固定

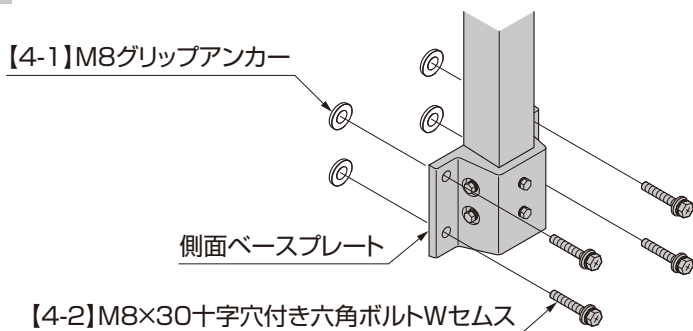


図6-7

①【4-2】で側面ベースプレートを【4-1】に取付けてください。(図6-7参照)

取説コード

A538

JZZ621169C
201102A_1041
201607D_1048